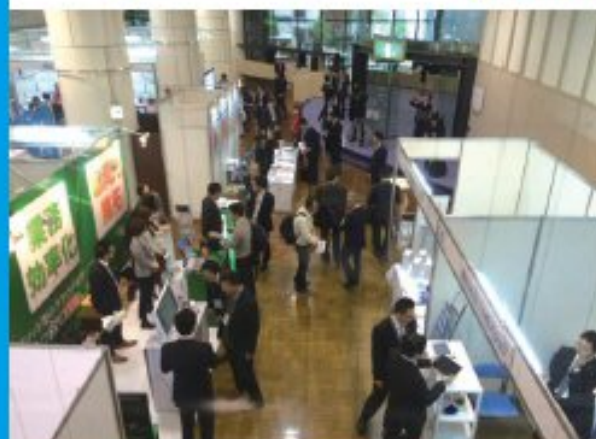


ありがとうございました。

会計事務所 博覧会 2014

INDEX

- 「会計事務所甲子園」優勝事務所 …… 2面
- 士業ITアドバイザー協会が活動 …… 3面
- 富裕層獲得にサイト活用 …… 4面
- 「Ja-BIG」ネットワーク組織とは …… 5面
- 認定支援ビジネス、成功の秘訣 …… 6面
- 動き出した「地方公会計」ビジネス …… 7面
- 「会計事務所博覧会2014」ダイジェスト …… 8面



出展企業数36社を数えた今回の会計事務所博覧会。会計システム関係では、業界内の主要なメーカーらが、クラウドなど最新の主力商品を展示。また、顧問先を増やすための各種サービスを提供する企業も出展。さらに、まとめてみる機会が少ない会計事務所が母体となって開発された商品・サービスの展示も来場者らの関心を集めた。(8面にダイジェストを掲載)

初日は雨にも関わらず、業界唯一のイベントに期待を寄せる来場者ら。



「5年先の未来が見える—会計事務所の新たな価値創造を求めて」をメインテーマに、株式会社ゼイカイが初主催した会計事務所向け各種サービスや魅力的な最新の財務・会計システムを一堂に集めた「会計事務所博覧会2014」が、このほど開催された。

11月26、27日の2日間にわたって開かれたこのイベント(入場無料)には、初日悪天候にも関わらず、会場となった東京・浜松町の「東京都立産業貿易センター 浜松町館」に、全国から会計事務所の所長税理士や職員ら約600人が続々参加。

激変といえるほどの変化を遂げている会計業界。システムは低価格なパソコンシステムからインターネットを使ったクラウド会計・税務システムへと変わり始め、広告規制緩和により、インターネット広告や税理士紹介サービスなどの新しいサービスも次々に出現。さらに、相統

や融資、経営計画、税務調査などの強みを打ち出す特化型会計事務所も増加。会計業界は激しい競争激化による差別化が進行中だ。

こうした新たな課題に、会計事務所はどう取り組んでいくのか。5年先に目指すべきポジションはどこなのか。

「会計事務所博覧会」は、先進事務所を目指すためのノウハウ・コンテンツを一堂に集めた業界初、唯一のイベントとして、顧問先の拡大をはじめ、業務効率化、付加価値業務の提案、職員育成・人材活用など、現在の会計事務所経営の課題解決に役立つシステムやツールなどが一堂に揃った。

また、会計士が関心を寄せるテーマを盛りめぐり、「先進会計人フォーラム」という集中セミナーも同時開催。さらに、全国の会計事務所の税理士や職員が、会社の決算書をいかに「早く」「正確」に作成するかを競う業界初の「会

計事務所決算品質大賞」コンテストも実施。多くの来場者がビジョンとして描かれている「5年先の未来」について、最新の会計業界の「潮流」を体感してもらった絶好の機会となった。

なお、次回開催については、来秋(時期および場所は未定)を予定しており、詳細が決定次第、業界関係者や読者の方々に紙面やホームページで案内していくことにしている。

www.zeirishiexpo.com



高橋興大実行委員長から優勝トロフィーを授けられた八木興助税理士(左)

特設ステージ企画として実施された「会計事務所決算品質大賞」のコンテスト。この催しは、全国の税理士事務所の税理士や職員が、会社の決算書をいかに「早く」「正確」に作成するかを競う大会。架空の会社の伝票や預金通帳などの証拠書類から決算報告書と元帳を作成し、eメールで提出された決算書の正確性とスピードから優勝者が決まる業界初の催し。

参加資格は税理士および税理士事務所職員で、感情的なものが一切入り込む余地がなく、会計事務所としての真の実力



業界初!! 「会計事務所決算品質大賞」コンテスト

八木税理士(税理士法人新日本)が初優勝

を客観的かつ公平に競い合うコンテストという意味合いから、入賞者にとっては対外的に相当なアピール効果が期待できるのがメリットだ。

提出された決算書をもとに、会計事務所決算品質実行委員会が厳正に審査を行った結果、税理士法人新日本の八木俊助税理士(東京・港区、利用システム:フリーウェイ経理)が見事、初優勝した。2位は、わみ会計事務所の和美智伸税理士(同・豊島区、利用システム:タムラ)、3位は道辺宏幸税理士事務所(同・鎌倉市、利用システム:フリーウェイ経理)の川上佳恵さん。受賞者にはそれぞれ、クリスタルトロフィーが贈られた。優勝した八木税理士は、「初めての企

業ということ、自分の実力を試そうと思って応募した。実力者揃いの先生方が多いと聞きましたが、まさか優勝するなんて、夢にも思わなかった。来年もぜひ、参加したい」と表彰式で語った。

会計事務所決算品質大賞は、各事務所の事情を配慮し順位は上位3名までを公表し、以下は秘蔵保持された。職員をエントリーさせたある先生は「事務所の職員のレベルを知るためにも有効だと思い、今回は2名エントリーさせました。今後は、職員を全員出場させ、コンテストの順位で給与体系を見直すというのを目指したいと思います」と言う。

受賞者した税理士法人新日本が国内最高品質の事務所という栄冠に満ち一方、

今回の会計事務所決算品質大賞により大きな問題点がクローズアップされた。今回エントリーしたのは税理士、職員それぞれほぼ半数という比率だったが、平均得点は100点中、47.5という低さだった。また利用する会計ソフトでのスピードの差も出てしまった。会計事務所システムの中で最速と言われるフリーウェイ経理と他社システムのスピードの差がそのまま順位に反映された事も今後、考慮すべきかもしれない。

なお、来年度もこのコンテストは実施される予定で、エントリー等についての詳細や、今年出題された問題は「会計事務所博覧会」ホームページにてご案内していく。